



I-04 ブランドマスター

ブランドマスターの役割

ブランドマスターの画面は売上予算・実績画面と仕入予算・実績画面で構成されており、予算を管理しない場合はコードとブランド名のみを登録することも可能です。

ブランドマスターはあくまでも商品に対する属性であり、事業部という概念ではありません。よって得意先に対する販売規制はなく、自由に出荷できます。

NBSでは販売管理においてブランド別に集計を行うことが目的となっています。販売管理の在庫比較表等の帳票でブランドー商品分類ー季節コード順等に括ることができます。

ブランドマスターメンテナンス (Win32 NT)

処理 (F) 画面印刷 (H)

登録 ブランドマスターメンテナンス 20年10月度

ブランド 111 TOKO

売上予算 項目	売上予算	仕入予算	仕入予算 項目
1月	10,185,270	4,789,410	
2月	16,592,900	1,814,900	
3月	13,421,645	7,839,030	
4月	18,010,300	4,349,020	
5月	18,811,878	1,427,486	
6月	33,911,588	9,540,540	
7月	0	0	
8月	0	0	
9月	0	0	
10月	0	0	
11月	0	0	
12月	0	0	
合計	110,933,581	29,760,386	

更新 (U) デフォルト (R) 中止 (S) 終了 (X)

仕入予算を入力して下さい。



I-04 ブランドマスター [登録]処理

[登録]処理説明

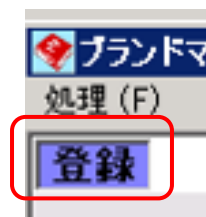
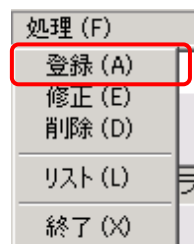
ここではブランドマスターの登録について説明します。

操作説明

1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から[登録(A)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。

左上に「登録」の文字が表示されます。



2. ブランドコード・ブランド名の入力

左の欄(①)にブランドコードは3文字以内の英数字で入力します。

右の欄(②)にブランド名は全角10桁以内で入力します。

予算管理を行わない場合は更新ボタンを押して登録します。

ブランド	①	②
------	---	---

3. 売上情報の入力

期首～期末まで数値10桁以内で入力します。

(登録しなくても運用は可能です)

売上予算・値引・返品・粗利が入力できます。

(売上データは反映されません)

合計・純売上は自動で集計されます。

	売上予算	仕入予算
1月	10,185,270	4,789,410
2月	16,592,900	1,814,900
3月	13,421,645	7,839,030
4月	18,010,300	4,349,020
5月	18,811,878	1,427,486
6月	33,911,588	9,540,540
7月	0	0
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0
11月	0	0
12月	0	0
合計	110,933,581	29,760,386

4. 仕入情報の入力

期首～期末まで数値10桁以内で入力します。

(登録しなくても運用は可能です)

仕入予算・仕入・値引・返品が入力できます。

(仕入データは反映されません)

合計・純仕入は自動で集計されます。

5. 更新ボタン

入力したデータを登録します。

6. デフォルトボタン

使用しません。

7. 中止ボタン

入力しているデータを破棄し、未入力の状態に戻します。

8. 終了ボタン

ブランドマスターを終了します。



I -04-2 ブランドマスター [修正]処理

[修正]処理説明

ここではブランドマスターの修正について説明します。

※ブランドコードの変更はできません※

操作説明

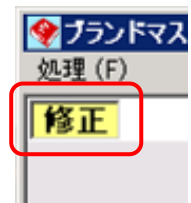
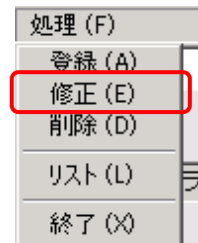
1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。

左上の[処理(F)]から[修正(E)]をマウスでクリック、

またはアクセスキーを押します。

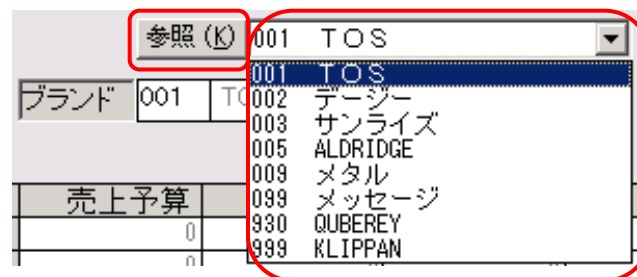
左上に「登録」の文字が表示されます。



2. ブランドコードの選択

登録済のブランドコードを入力するか、ブランドコード欄でスペースキーを押して検索します。

また、参照ボタンを押して▼をクリックすることで登録済みマスター一覧が表示され選択できます。



3. 売上予算・仕入予算の修正

売上予算・仕入予算を修正できます。

4. 更新ボタン

修正したデータを登録します。

5. 呼出時ボタン

修正したデータを削除し、修正前に戻します。

6. 中止ボタン

修正したデータを破棄し、ブランド選択前に戻します。

7. 終了ボタン

ブランドマスターを終了します。



I -04-3 ブランドマスター [削除]処理

[削除]処理説明

ここではブランドマスターの削除について説明します。

商品マスターや商品分類マスターで使用している ブランドコードは削除することができません

操作説明

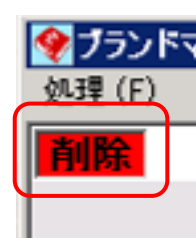
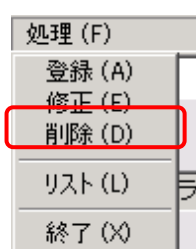
1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。

左上の[処理(F)]から[削除(D)]をマウスでクリック、

またはアクセスキーを押します。

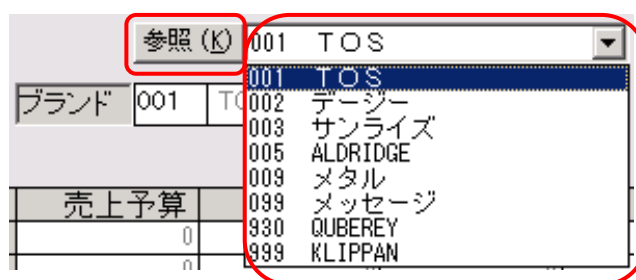
左上に「登録」の文字が表示されます。



2. ブランドコードの選択

登録済のブランドコードを入力するか、ブランドコード欄でスペースキーを押して検索します。

また、参照ボタンを押して▼をクリックすることで登録済みマスター一覧が表示され選択できます。



3. 更新ボタン

表示しているデータを削除します。

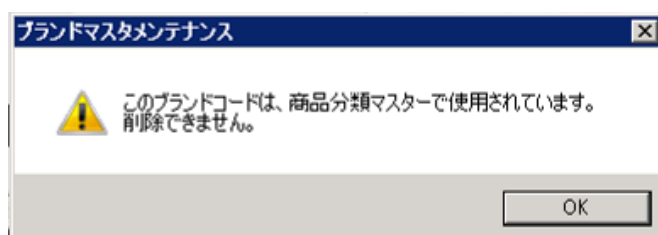
4. 中止ボタン

表示しているデータを破棄し、ブランド選択前に戻します。

5. 終了ボタン

ブランドマスターを終了します。

※削除したいブランドが商品分類マスター等で使用されている場合は削除できません。





I-04-4 ブランドマスター [リスト]

[リスト]説明

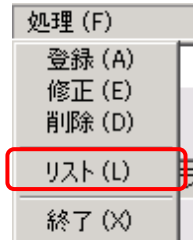
ここではブランドマスターリストについて説明します。

操作説明

1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。

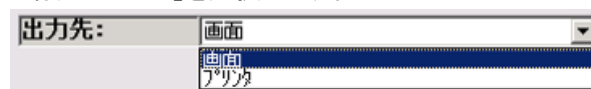
左上の[処理(F)]から[リスト(L)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。



2. 出力先の選択

画面上に表示する「画面」と、紙で印刷する「プリンタ」が選択できます。

PDF ファイルで保存したい場合は「画面」を選択します。



3. 範囲の選択

出力するブランドコードの開始と終了を範囲で指定します。

開始が空欄の場合、初めから。終了が空欄の場合、最後までが出力されます。

開始欄・終了欄ともに空欄の場合、全てのブランドが出力されます。



4. 出力ボタン








リストを出力します。

5. 終了ボタン

ブランドマスターリストを終了し、ブランドマスター画面に戻ります。

<画面出力>

画面上に出力したブランドマスターリストの上段にある各種機能は以下のとおりです。

-  : 印刷ボタン。画面に表示されているリストを印刷します。
-  : レポートのエクスポート。リストを PDF や Excel ファイルとしてエクスポートします。
-  : ページの移動。最初や最後、前後や任意のページに移動できます。
-  : テキストの検索。リスト内の文字を検索します。
-  : 画面倍率の変更。▼から選択、または手入力で変更できます。
-  : 印刷設定。プリンタなどを設定します。
-  : リストを閉じます。ブランドマスターリスト画面に戻ります。